

【丸井委員提供資料】

山梨県側の高速長尺先進ボーリングの湧水が静岡県 の地下水である根拠を科学的に示す方法

地質構造・水資源部会専門部会委員 丸井敦尚

静岡県内の粘板岩と山梨県内の砂岩頁岩互層とは、堆積時期が異なるほか、圧力変成の度合いが異なります。それぞれの岩盤内での地下水は地層水の可能性が高く、その移動状況も少しずつ違っています。以下の方法を組み合わせることで、高度な推定ができると思います。また、周辺データが多いほど正確な議論ができます。

- ① 高速長尺先進ボーリングにより、透水係数や間隙率が分かれば、シミュレーションが高度化されるので、どの範囲の地下水が湧出しているのか推定できる。
- ② 深部地下水の賦存状態に若干の差がみられるので、湧出水の水温や過去のボーリングデータ（地下水温）から静岡県内の深部地下水の移動を推定する。
- ③ 同位体組成から滞留時間が推定でき、深部地下水の賦存状態がわかるので、静岡県側の地下水と言える。